

桑野造船株式会社

〒520-0243 大津市堅田 1-21-2 TEL:077-573-8001 FAX:077-573-8002

URL: <http://www.k-boat.co.jp> E-mail: kuwano@k-boat.co.jp

桑野造船 会社目標

未来に向かって進化

- お客様にとってなくてはならない桑野になるために -
- * ヨーロッパ艇を超える(工夫と行動)
- * 感性を豊かに(新感覚と楽しさ)
- * 徹底したサービス(感謝と早さ)

アテネ五輪は終わりました。桑野造船はアテネ対策艇の開発でオリンピック挑戦を試みました。残念ながら本大会に間に合わなくて使われるには至りませんでしたが多量の艇作りの知恵を蓄えることができました。次はシーズン最後の大きな大会の埼玉国体ですが、この自称「アテネ艇」は国体会場でも展示いたしますので是非ご覧下さい。また、今大会の使用規格艇は昨年静岡大会使用艇と構造が異なります。国体に参加のクルーでストレッチャー等の交換部品をされる場合は取合い寸法の確認をして参加されることをお知らせします。

アテネ艇

日本ボート協会の医科学委員会・造艇グループの企画にのっとり、アテネオリンピックを目標に開発した艇です。艇体でおよそ 18.5m、小径化オールと併せて約 3 艇身のゲインが期待できます。KUWANO 初のウイングリガーも注目です。



艇長: 9.3 m

艇重量: FISA 規定以下 (27.0 kg)

構造: カーボン/ノーマックスハネカム(5mm)サンドイッチ構造
アテネのラフコンディションを想定して浸水量の低減と浮力維持を目的にシートレール下部を独立空間とした
性能: 艇型とウイングリガーの新開発により抵抗を低減した

艇の寿命はどれくらい?

お客様からのお問い合わせで、一番困るのがこの質問です。なぜならローイングボートは使い次第で寿命、特にレース艇としての寿命が何倍も変わってくるからです。今回は艇の寿命を縮める、主な原因や対策について紹介します。

1. 湿気(水気)

樹脂、繊維やサンドイッチコア材等の吸水による劣化で、重量増加、剛性低下の原因になります。海水・汽水で使用する場合は電触により金属部品の消耗が激しくなります。使用後は真水でよく洗ったうえ、キャンバス内、デッキ下等の水分を特によく拭き取り、水栓は必ず開放したまま保管して下さい。

2. 直射日光

塗装やゲルコートは紫外線に当たり続けると退色(色あせ)、チョーキング(表面のつやが無くなり、ざらざらになる事)の原因になります。

また、艇体が高温になる事により、「ひけ」(樹脂やせ)が発生しやすくなり、繊維目やハネカム目が表面に浮き上がることがあります。屋外保管は極力避け、日中は艇庫内等日陰にしまして下さい。

3. 修理の不備

艇使用後は清掃とともに、毎回確実に点検し、故障があれば早期に修理する事が重要です。故障箇所の放置は将来の修理箇所を大きくし、重量の増加、修理金額の増大につながります。

4. 繰り返し荷重

数年、あるいはもっと短い期間で艇の剛性が落ちて張りが無くなって来るように感じられます。故障と違い、漕げなくなる訳ではないのであまり問題にされる事はありませんでしたが、感覚の優れた選手が増えつつある今後は状況が変わってくるかも知れません。艇の寿命を延ばす一番の方法は単純ですが、使わない事です。レース艇を使わないで保管する、という「もったいない」とか「ぜいたくだ」と言われそうですが、オリンピックや世界選手権に使用するグレードの艇を年中乗り回して数年で乗り換える日本のサイクルは世界的にはかなり特殊でぜいたくな状況のようです。

シーズンオフにはトレーニング艇や古いレース艇を活用してはいかがでしょうか。

世界コーチカンファレンス開催

11月4～7日に岐阜県大垣市で開催されます。日本での開催は初めてです。今年のメインテーマは「軽量級」です。世界を目指す選手のみならず、小柄な我が国の選手の漕技・体力トレーニングへ何かの示唆が有ることを期待できます。以下の予定です。指導者の方々の参加をお薦めします。また、正式参加ではない傍聴参加(同時通訳機貸与、発言権なし、パーティー参加なし等を条件)をみとめる事を検討中とも聞いています。

演題・演者

トール・ニールセン: 軽量級における体重と戦略・・・世界の指導者の神様です。この人に会うだけで価値があります。

FISA : アテネ五輪の分析・・・FISAの今後の五輪構想が聞けるかも知れません。

ギリシャより : ローイングと環境

オーストラリア: オリンピッククルーへの微少センサの応用・・・ボートはサイエンスも重要な勝利への因子です。

イギリス: 腰痛、背筋力とローイングパフォーマンスの最大化

その他 各国の発表テーマが多く予定されている。

(日本語訳 = 桑野造船です。詳細は直接お確かめください。)

BOAT TIMESの配信停止をご希望される方は、お手数ですがFAX (077-573-8002)又はE-Mail (kuwano@k-boat.co.jp)で当社までご連絡下さい。また、ご意見・ご感想などもお待ちしております。

お手数ですがボート関係者へお渡しをお願いいたします。